

特別企画展「孫文・梅屋庄吉と長崎」の開催をはじめとする「孫文・梅屋庄吉と長崎」プロジェクトを一過性に終わらせることなく、継続的かつ効果的に情報発信を続けていくことが重要であるとの認識のもと、孫文と梅屋庄吉の関係を中心に、近代長崎の東アジアとの交流史の研究も視野に入れた常設展示にかかる検討を実施。専門家からなる検討委員会から設置候補地を「旧香港上海銀行長崎支店」とすることが望ましい、との提言を受け、県とその所有者である長崎市との間で、検討を重ね2013年4月に設計に着手し、2014年4月26日に開館。



旧香港上海銀行長崎支店記念館の  
2～3Fがミュージアム



長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム  
開館式 2014年4月26日

## 1. 検討・整備経過

- (1) 2012年5月29日  
行政及び有識者9名による孫文・梅屋庄吉（東アジア・長崎近代交流史）常設展示整備構想策定委員会の設置
- (2) 2013年1月18日  
上記委員会から設置候補地を「旧香港上海銀行長崎支店」とすることが望ましい、など整備にかかる内容について提言がなされた。
- (3) 2013年3月29日  
長崎県と長崎市において、「孫文・梅屋庄吉と長崎近代交流史常設展示室（仮称）整備基本構想を策定。長崎県と長崎市において、「孫文・梅屋庄吉と長崎近代交流史常設展示室（仮称）整備基本構想を策定。」
- (4) 2013年4月上旬  
実施設計・施工に着手
- (5) 2014年3月完成

## 2. 開館式典

- (1) 日時：2014年4月26日（土）
- (2) 出席者：総勢150名  
小坂文乃日比谷松本樓副社長、古田茂美香港貿易発展局日本首席代表、川島真東京大学大学院准教授、藤井健元副知事・国交省官房審議官、横山宏章北九州大学大学院教授、姫野順一長崎大学名誉教授、駐長崎総領事館 李文亮総領事、香港中華総商会 ジョナサン・チョイ 名誉会長、中山市 呉月霞副市長、中国社会科学院 歩平研究員、中日友好協会 郭寧理事、南京市油畫彫塑院 王洪志院長

## 3. 主な出来事

### (1) 中国交流団の訪問

日時	訪問団名称	人数
2017年4月26日	北京市私立匯佳学校 (国際インターナショナルスクール、小学生)	48名
2017年7月3日	上海子供記者クラブ	95名
2017年10月20日	「日中・植林植樹国際連帯事業」 日中青少年交流事業（福建省大学生団）	53名
2018年6月9日	廈門虎溪岩寺「隠元禪師東渡の足跡を辿る」 黄檗文化交流団	44名
2018年7月21日	香港中華総商会蔡冠深会長等	25名
2018年8月22日	日中「孫文・梅屋庄吉」塾	60名
2018年8月31日	湖北省王曉東省長等	16名
2018年11月21日	海外自治体幹部交流協力セミナー（外交部等）	6名
2018年12月21日	上海文化出版民間訪日観光団	27名

### (2) 情報発信活動

#### ①2018年度

##### 「第30回孫中山宋慶齡記念地連席会議」

- 日時：2018年11月28日（水）～11月29日（木）
- 会場：神戸市
- 内容：
  - 平成30年度「長崎の偉人 梅屋庄吉」読書感想文コンクール最優秀作品の紹介
  - 「日本の孫文・宋慶齡ゆかりのミュージアム展」（2018年11月1日～12月2日、移情閣）で、宋慶齡が梅屋庄吉の娘に宛てた手紙、宋慶齡さんのドレスなどを展示
  - また、記念ディスカッション「日本の孫文ゆかりのミュージアム」で、長崎歴史文化博物館とその分館である長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム及び活動を紹介。
- 来場者：中国、マレーシア、シンガポール、アメリカ、日本等の国や地域の32の記念館から63名の代表が参加し、特別ゲスト14名や神戸中華同文学学校と市民もたくさん来場した。



上海子供記者クラブ



「日中・植林植樹国際連帯事業」  
日中青少年交流事業（福建省大学生団）



廈門虎溪岩寺黄檗文化交流団



「第30回孫文・宋慶齡記念地連席会議」